

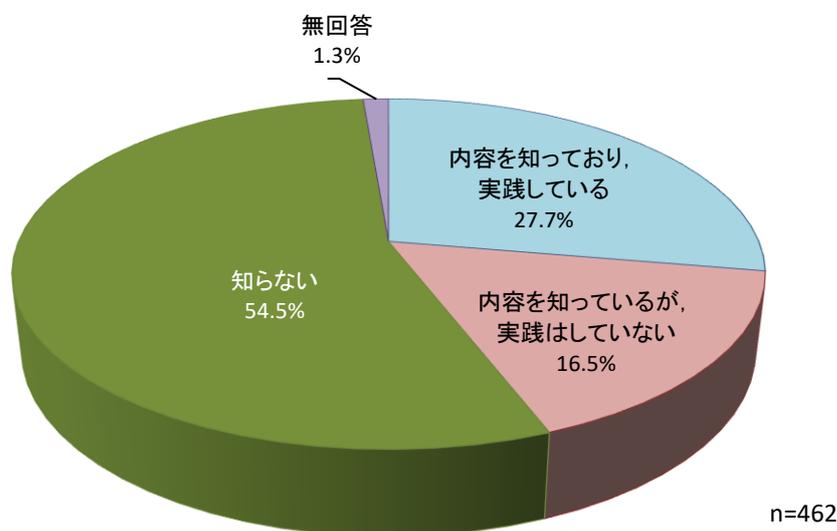
## 27. 「もったいない運動」について

### (1) 「もったいない運動」の認知度

◇ 「内容を知っており、実践している」が3割弱、「内容を知っているが、実践はしていない」が2割弱

問87	宇都宮市で取り組んでいる「もったいない運動」を知っていますか。	(○は1つ)
		n=462
1	内容を知っており、実践している	27.7%
2	内容を知っているが、実践はしていない	16.5%
3	知らない	54.5%
	(無回答)	1.3%

<図IV-27-1>全体



「もったいない運動」を知っているかについては、「知らない」が54.5%、一方、「内容を知っており、実践している」は27.7%、「内容を知っているが、実践はしていない」は16.5%であった。

(図IV-27-1)

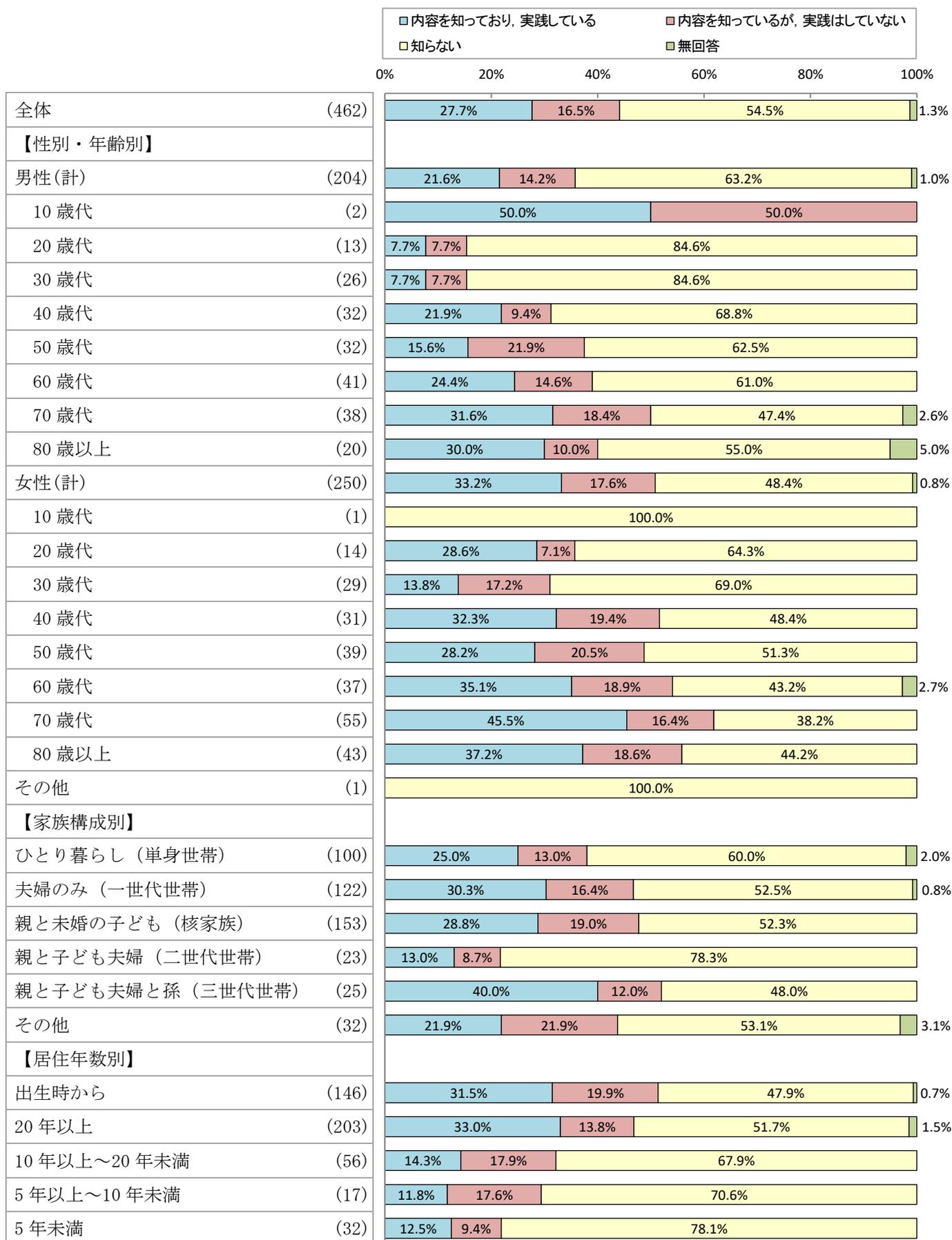
#### <参考>

性別・年齢別でみると、「知らない」は<男性20・30歳代>がいずれも84.6%、<女性30歳代>が69.0%であった。「内容を知っており、実践している」は<女性70歳代>が45.5%、<女性80歳以上>が37.2%であった。(図IV-27-2)

家族構成別でみると、「知らない」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が78.3%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が60.0%であった。「内容を知っており、実践している」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が40.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が30.3%であった。(図IV-27-2)

居住年数別でみると、「知らない」は<5年未満>が78.1%で最も高く、次いで<5年以上~10年未満>が70.6%であった。「内容を知っており、実践している」は<20年以上>が33.0%で最も高く、次いで<出生時から>が31.5%であった。(図IV-27-2)

<図IV-27-2>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

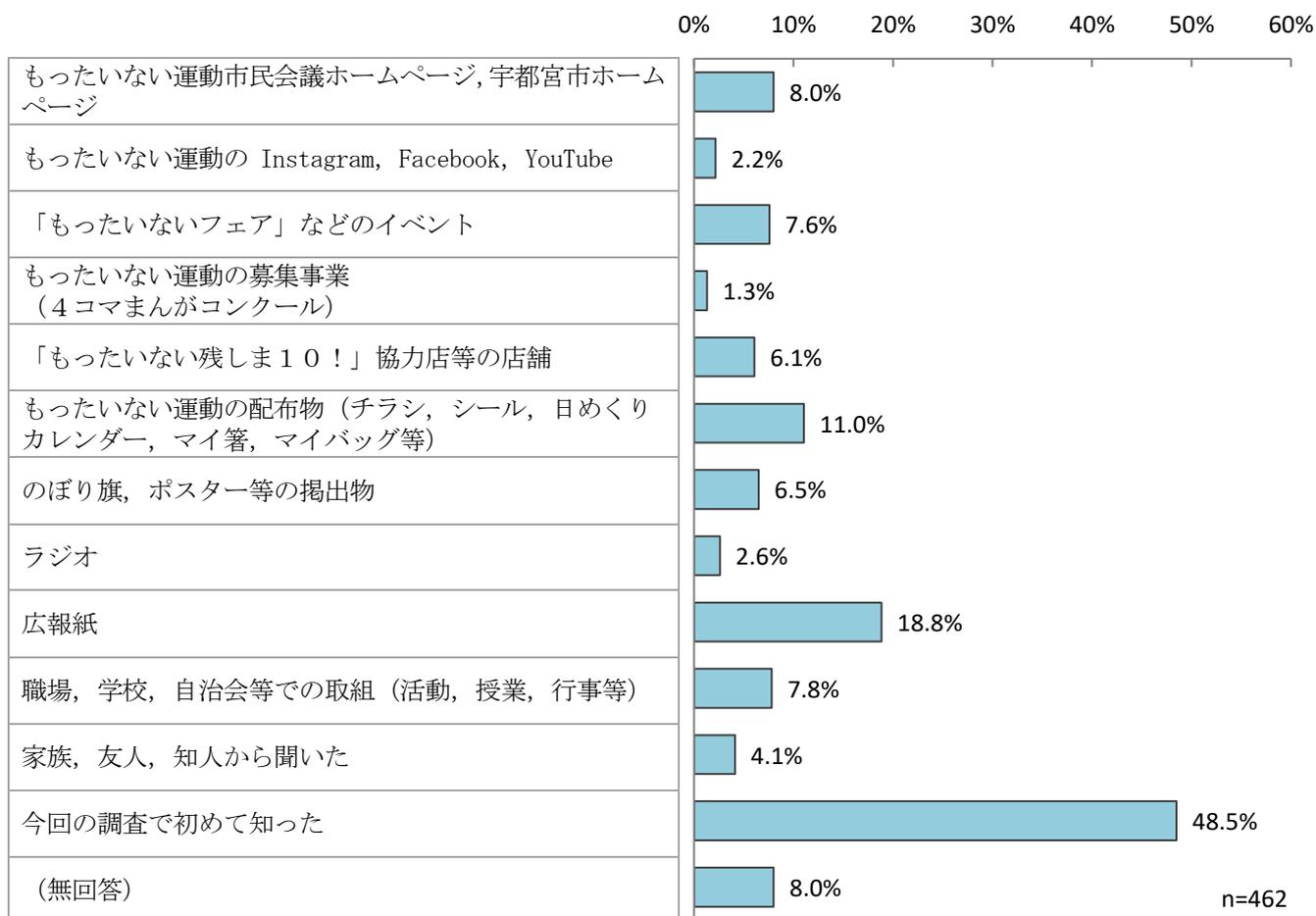


## (2) 「もったいない運動」を知った経緯

◇ 「今回の調査で初めて知った」が約5割

問88	「もったいない運動」について、どのようにして知りましたか。	(〇はいくつでも)	n=462
1	もったいない運動市民会議ホームページ, 宇都宮市ホームページ		8.0%
2	もったいない運動の Instagram, Facebook, YouTube		2.2%
3	「もったいないフェア」などのイベント		7.6%
4	もったいない運動の募集事業 (4コマまんがコンクール)		1.3%
5	「もったいない残しま10!」協力店などの店舗		6.1%
6	もったいない運動の配布物 (チラシ, シール, 日めくりカレンダー, マイ箸, マイバッグ等)		11.0%
7	のぼり旗, ポスター等の掲出物		6.5%
8	ラジオ		2.6%
9	広報紙		18.8%
10	職場, 学校, 自治会等での取組 (活動, 授業, 行事等)		7.8%
11	家族, 友人, 知人から聞いた		4.1%
12	今回の調査で初めて知った		48.5%
	(無回答)		8.0%

<図IV-27-3>全体



---

「もったいない運動」について、どのようにして知ったかについては、「今回の調査で初めて知った」が48.5%で最も高く、次いで「広報紙」が18.8%、「もったいない運動の配布物（チラシ、シール、日めくりカレンダー、マイ箸、マイバッグ等）」が11.0%と続いた。（図IV-27-3）

<参考>

性別・年齢別でみると、「今回の調査で初めて知った」は<男性20・30歳代>がいずれも84.6%、<男性40歳代>が65.6%であった。「広報紙」は<女性70歳代>が40.0%、<男性80歳以上>が35.0%であった。（図IV-27-4）

家族構成別でみると、「今回の調査で初めて知った」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が69.6%で最も高く、次いで<ひとり暮らし（単身世帯）>が54.0%であった。「広報紙」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が32.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が23.0%であった。（図IV-27-4）

居住年数別でみると、「今回の調査で初めて知った」は<5年未満>が78.1%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が64.7%であった。「広報紙」は<出生時から>が23.3%で最も高く、次いで<20年以上>が23.2%であった。（図IV-27-4）

<図IV-27-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

- もったいない運動市民会議ホームページ、宇都宮市ホームページ
- 「もったいないフェア」などのイベント
- 「もったいない残しま10！」協力店などの店舗
- のぼり旗、ポスター等の掲出物
- 広報紙
- 家族、友人、知人から聞いた
- 無回答
- もったいない運動の Instagram, Facebook, YouTube
- もったいない運動の募集事業(4コマまんがコンクール)
- もったいない運動の配布物(チラシ、シール、日めくりカレンダー、マイ箸、マイバッグ等)
- ラジオ
- 職場、学校、自治会等での取組(活動、授業、行事等)
- 今回の調査で初めて知った

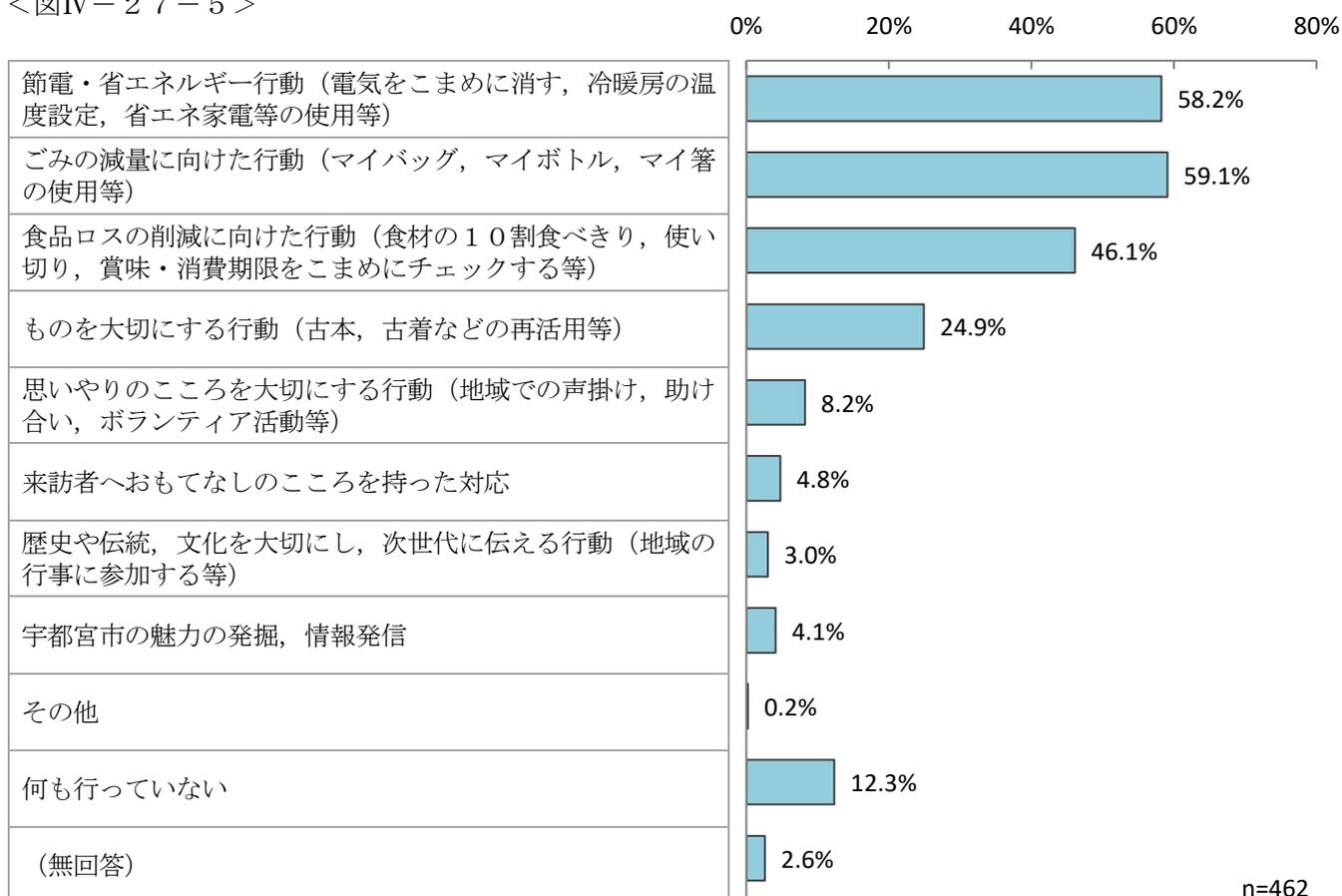


### (3) 日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」

◇ 「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」が約6割

問89 あなたが日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」はどのようなことですか。		(〇はいくつでも)	n=462
1	節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用等）		58.2%
2	ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用等）		59.1%
3	食品ロスの削減に向けた行動（食材の10割食べきり，使い切り，賞味・消費期限をこまめにチェックする等）		46.1%
4	ものを大切にしている行動（古本，古着などの再活用等）		24.9%
5	思いやりのところを大切にしている行動（地域での声掛け，助け合い，ボランティア活動等）		8.2%
6	来訪者へおもてなしの場所を持った対応		4.8%
7	歴史や伝統，文化を大切に，次世代に伝える行動（地域の行事に参加する等）		3.0%
8	宇都宮市の魅力の発掘，情報発信		4.1%
9	その他		0.2%
10	何も行っていない		12.3%
	(無回答)		2.6%

<図IV-27-5>



---

日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」については、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」が 59.1%で最も高く、次いで「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す、冷暖房の温度設定、省エネ家電等の使用等）」が 58.2%、「食品ロスの削減に向けた行動（食材の 10割食べきり、使い切り、賞味・消費期限をこまめにチェックする等）」が 46.1%と続いた。

（図Ⅳ－27－5）

#### <参考>

性別・年齢別でみると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」は<女性 60 歳代>が 83.8%、<女性 70 歳代>が 80.0%であった。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す、冷暖房の温度設定、省エネ家電等の使用等）」は<男性 80 歳以上>が 80.0%、<女性 80 歳以上>が 72.1%であった。（図Ⅳ－27－6）

家族構成別でみると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」は<夫婦のみ（一世代世帯）>が 66.4%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども（核家族）>が 64.7%であった。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す、冷暖房の温度設定、省エネ家電等の使用等）」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が 69.6%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が 64.0%であった。（図Ⅳ－27－6）

居住年数別でみると、「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ、マイボトル、マイ箸の使用等）」は<20 年以上>が 66.0%で最も高く、次いで<出生時から>が 61.6%であった。「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す、冷暖房の温度設定、省エネ家電等の使用等）」は<20 年以上>が 63.1%で最も高く、次いで<出生時から>が 61.0%であった。（図Ⅳ－27－6）

<図IV-27-6>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

